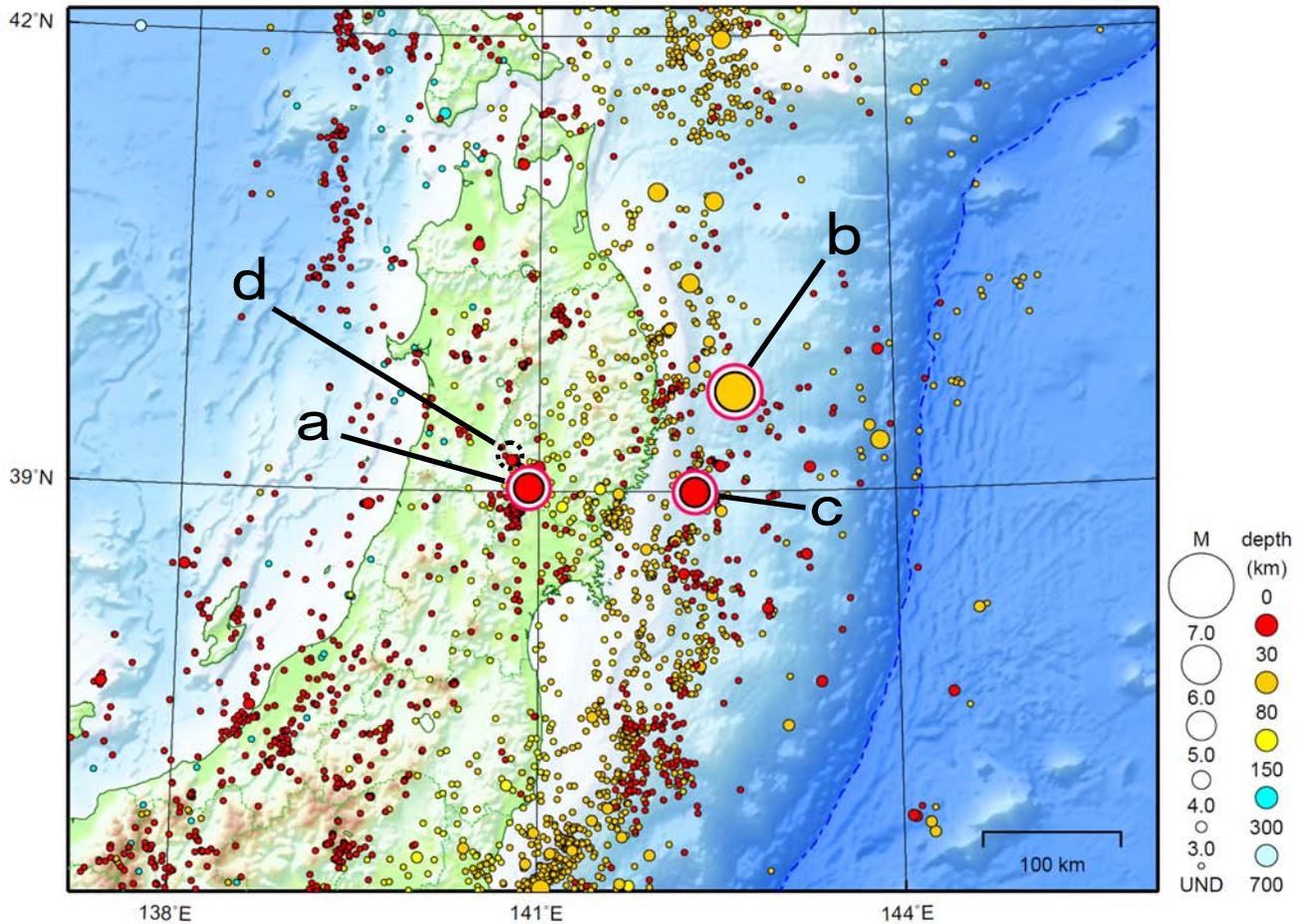


東北地方

2010/07/01 00:00 ~ 2010/07/31 24:00

N=4391



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 7月4日に岩手県内陸南部で M5.2 の地震（最大震度4）が発生した。

b) 7月5日に岩手県沖で M6.4 の地震（最大震度4）が発生した。

c) 7月27日に宮城県沖で M5.3 の地震（最大震度3）が発生した。

気象庁はこの地震に対して[岩手県沖]で情報発表した。

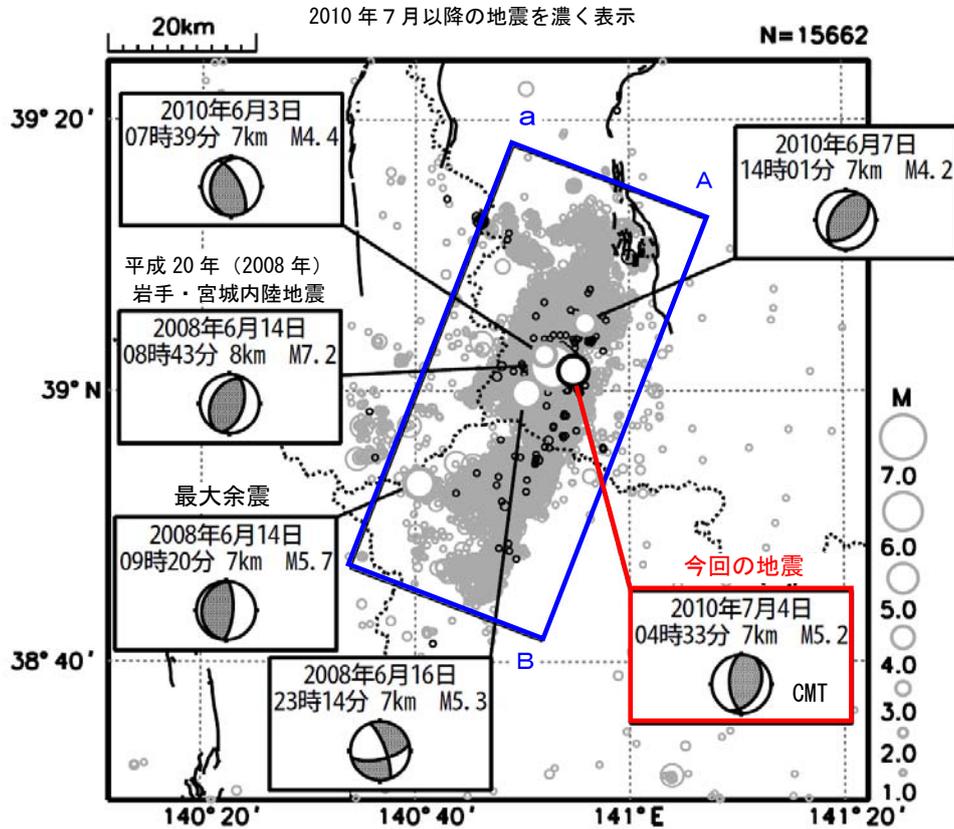
d) 岩手・秋田県境付近で、7月31日頃から M3.6 を最大とする、やや活発な地震活動が発生している。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

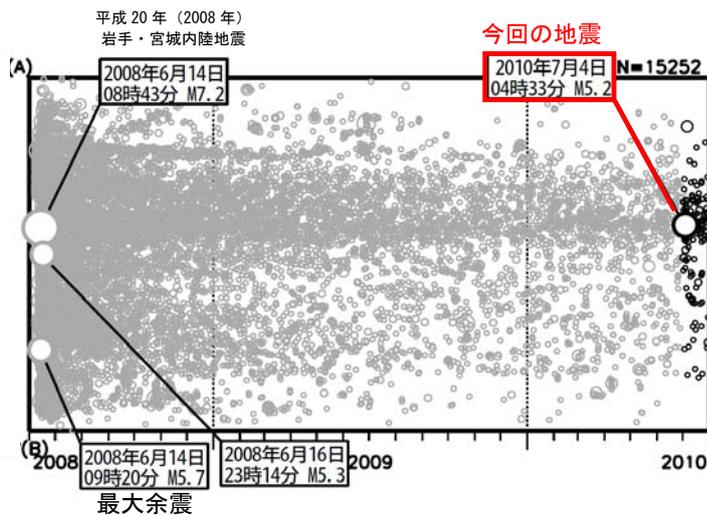
7月4日 岩手県内陸南部の地震

2010年7月4日04時33分に岩手県内陸南部の深さ7kmでM5.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震は「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」の余震域内で発生した地震である。M5.0を超えた余震は、2008年6月16日に発生した地震（M5.3、最大震度4）以来である。

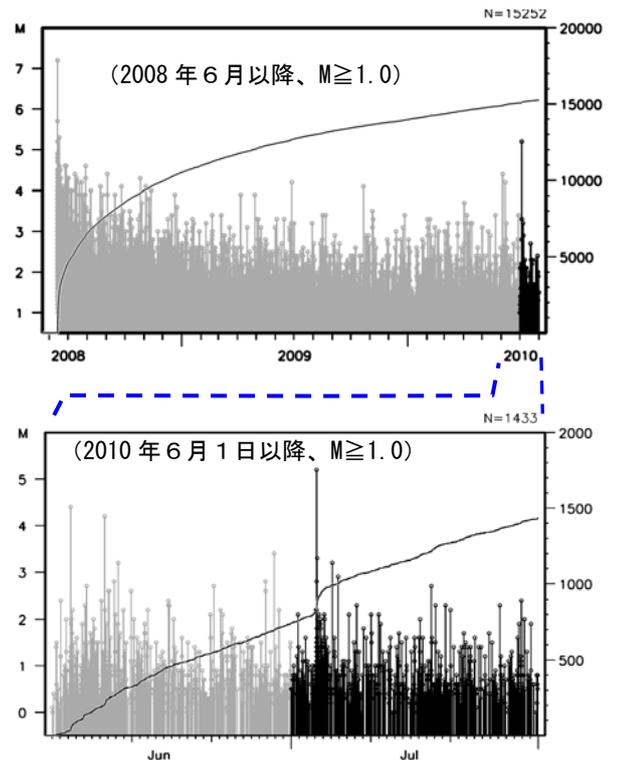
震央分布図（2008年6月1日～2010年7月31日、深さ0～20km、M \geq 1.0）



領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)

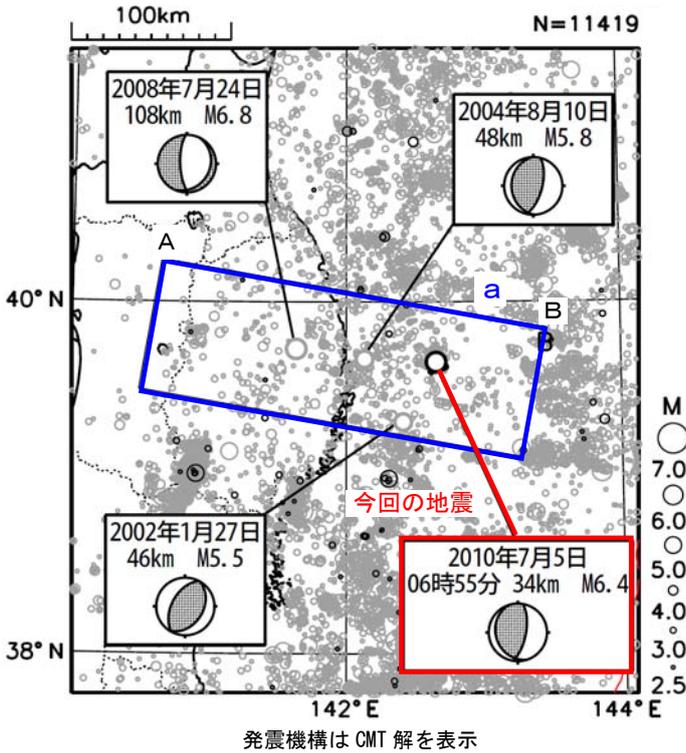


領域 a の地震活動経過図・回数積算図

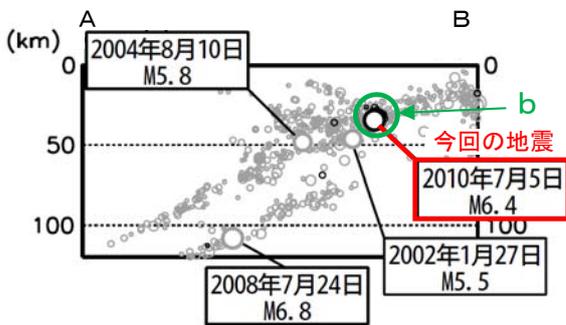


7月5日 岩手県沖の地震

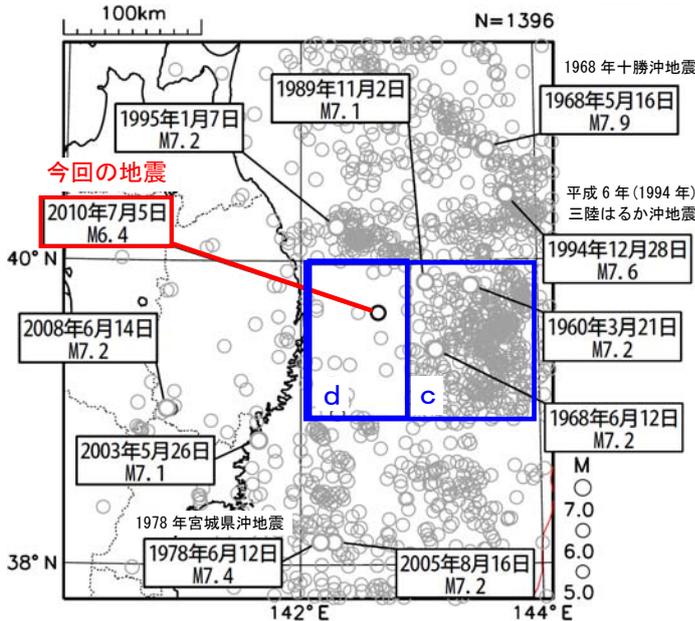
震央分布図 (1997年10月1日~2010年7月31日、
深さ0~120km、 $M \geq 2.5$)
2010年6月以降の地震を濃く表示



領域aの断面図 (A-B投影)



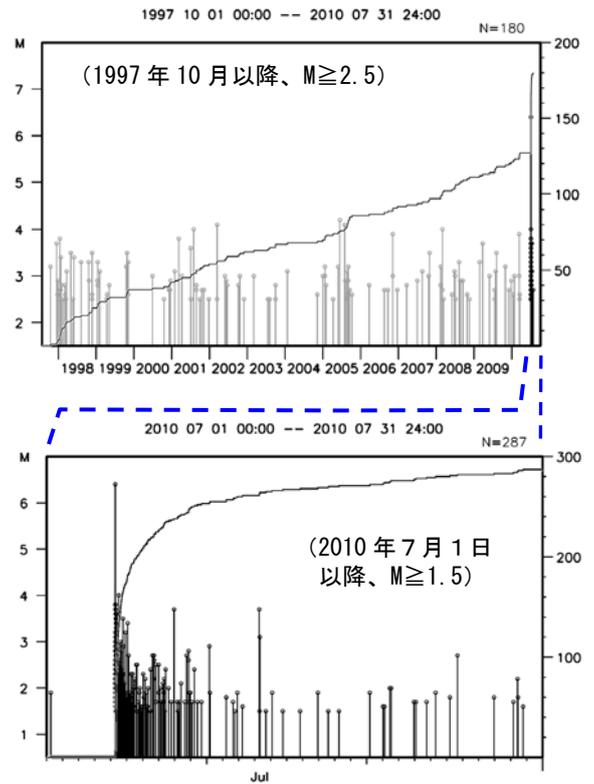
震央分布図 (1923年8月1日~2010年7月31日
深さ0~90km、 $M \geq 5.0$)



2010年7月5日06時55分に岩手県沖の深さ34kmで $M 6.4$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。余震活動はやや活発であるが、震度1以上を観測した地震は発生していない(7月31日現在)。

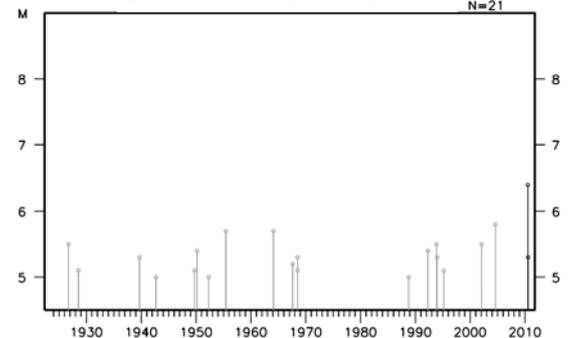
1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 5.0$ を超える地震は発生していない。

領域b内の地震活動経過図・回数積算図



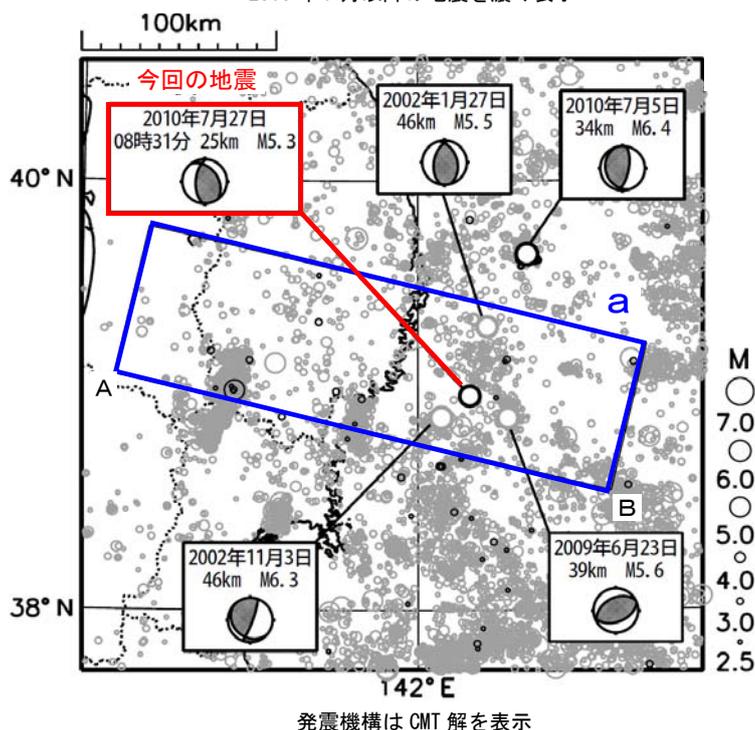
1923年8月以降の地震活動をみると、岩手県沖(領域c)は、 $M 7.0$ を超える地震が時々発生するなど、地震活動が活発な領域である。今回の地震の周辺(領域d)では、 $M 5.0$ を超える地震が時々発生する程度で、 $M 6.0$ を超える地震は発生しなかった。

領域d内の地震活動経過図

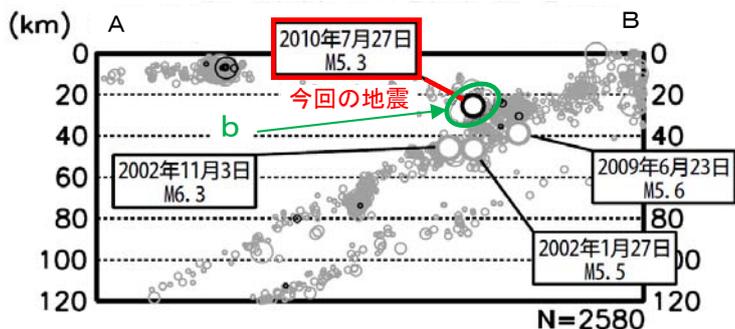


7月27日 宮城県沖の地震

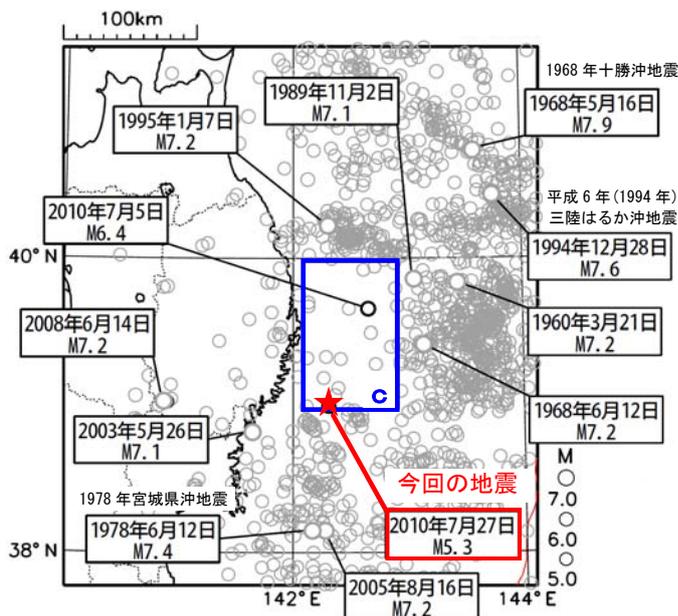
震央分布図 (1997年10月1日~2010年7月31日、
深さ0~120km、 $M \geq 2.5$)
2010年7月以降の地震を濃く表示



領域aの断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年8月1日~2010年7月31日、
深さ0~90km、 $M \geq 5.0$)

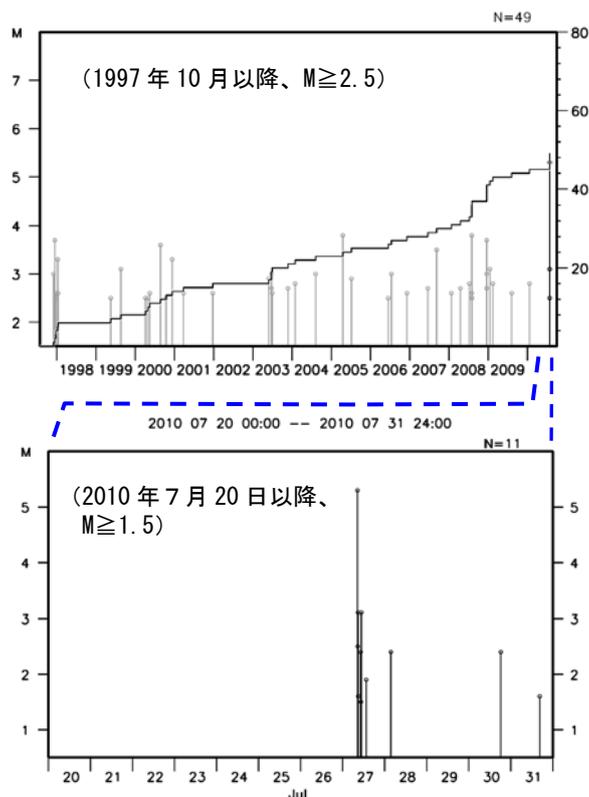


気象庁はこの地震に対して[岩手県沖]で発表した。

2010年7月27日08時31分に宮城県沖の深さ25kmで $M5.3$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震である。発震機構(CMT解)は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。余震活動は低調である(7月31日現在)。

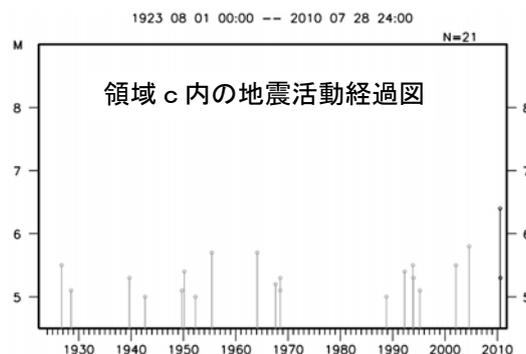
1997年10月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M5.0$ を超える地震は発生していなかった。

領域b内の地震活動経過図・回数積算図



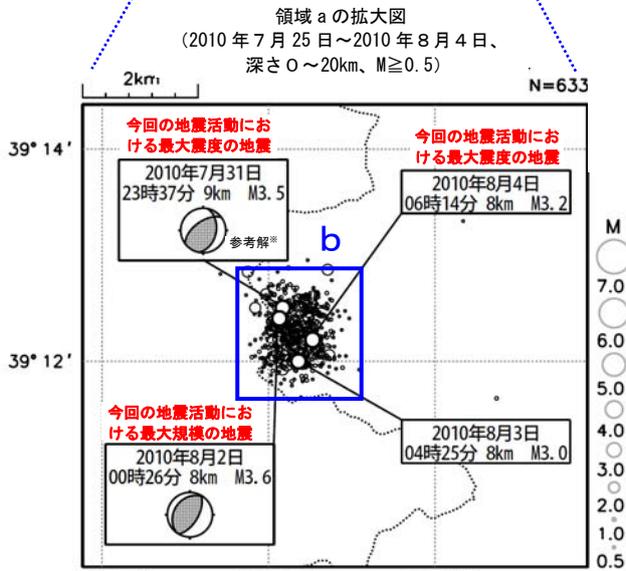
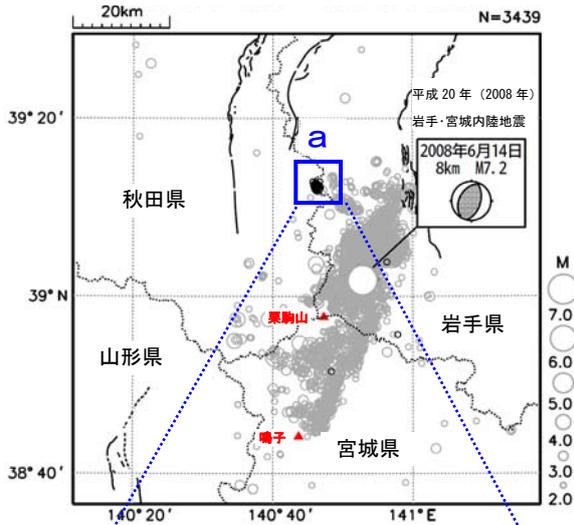
1923年8月以降の地震活動を見ると、岩手県沖から宮城県沖にかけては、 $M7.0$ を超える地震が時々発生するなど、地震活動が活発な領域である。今回の地震の周辺(領域c)では、 $M5.0$ を超える地震が時々発生する程度である。今回の地震はその領域の南端で発生した。

領域c内の地震活動経過図



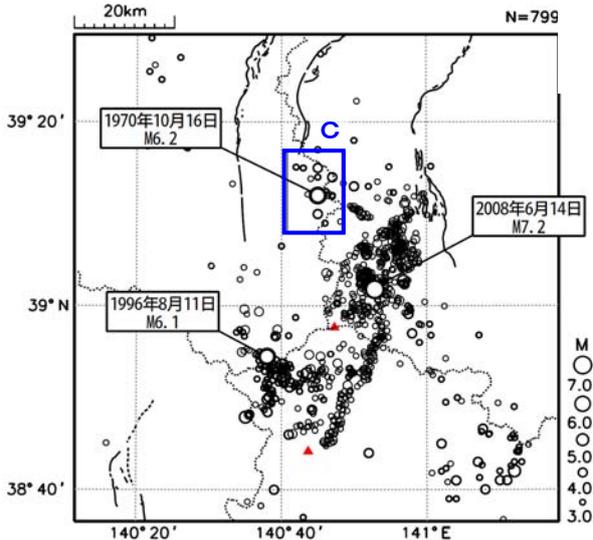
岩手・秋田県境付近の地震活動

震央分布図 (2008年6月1日～2010年8月4日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
(2010年7月25日以降の地震を濃く表示)



※ 通常の解よりも決定精度が低い。

震央分布図 (1970年1月1日～2010年8月4日、
深さ0～20km、 $M \geq 3.0$)

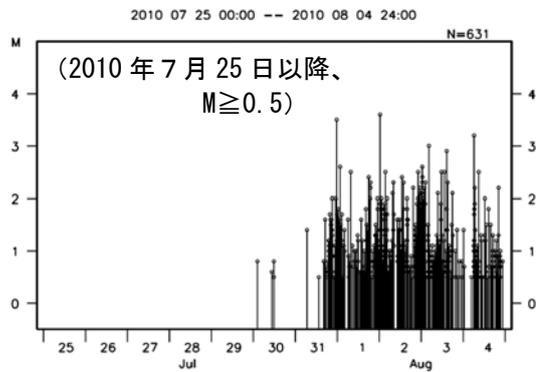


2010年7月31日頃から岩手県と秋田県の県境付近で微小な地震の活動が活発となっている。

8月4日現在、震度1以上を観測した地震は6回で、最大震度を観測した地震は、7月31日23時37分に発生したM3.5の地震 (最大震度2) と8月4日06時14分に発生したM3.2地震 (最大震度2) である。

地震の規模 (マグニチュード) が最大のものは8月2日のM3.6の地震 (最大震度1) である。活動は継続している (8月4日現在)。

領域b内の地震活動経過図



1970年1月以降の活動を見ると、今回の地震活動の付近 (領域c) では、1970年10月16日にM6.2の地震 (最大震度5) が発生している。この地震により、負傷者6人、住家被害466棟の被害が発生している (「最新版 日本被害地震総覧」より)。

領域c内の地震活動経過図

